

第4回 阿波おどり運営協議会 議事録

開催日時 平成30年10月26日(金) 午後15時30分～

開催場所 徳島市役所13階 大会議室

出席者 委員23名(代理4名、欠席1名) 事務局7名

- 1 開会
- 2 代理出席者及び欠席者紹介
- 3 議題(1) 阿波おどり事業の決算見込みについて
議題(2) 阿波おどり振興協会の対応について
議題(3) 他の祭りの開催について

【事務局】

資料1 阿波おどり事業決算見込みについて～資料3 他の祭りの開催状況について説明

【A委員】

収支について、収入が落ちるのは予想できたが、支出に関して全く儉約できておらず、去年より1700万円あまり増加しているのは、大きな問題ではないか。今年入札という形式でできたのが、見物ガイド、ポスターやスタッフTシャツ等一部の製作に関してだけだと聞いている。仕様書が作れないという理由で入札ができなかったとのことだが、その点は来年どうなるのか。また、本来であれば入札案件となる規模の支出について、どこにいくら支払ったのかは公にすべきと思うが、その点はどうか。特に徳島新聞社の関連会社におおよそいくら支払っているのか。

【事務局】

支出について、昨年より1700万円以上増加になっており、大きい要因は観光協会所有物を破産管財人から購入したものが1000万円ほどある。今回の通常的支出で言えば700万円ほど増加している。公園や学校等の臨時駐車場を従来であれば町内会等が運営していたが、今年から実行委員会が運営しており、警備員等の運営関係で経費が800万円ほど支出している。この辺りが事業費増加の大きい要因である。

入札案件については、指摘のとおり、仕様書がなく入札が難しいところもあり、また期間も限られており、入札できた案件は少なくなっているのが事実である。来年の運営を考えていく上で、実際に入札できるかどうかも含めて考えていかなければならない。現在、有識者会議を立ち上げており、会議の中で契約の在り方についても議論いただくように考えている。また、契約状況についても、透明性の観点から公にできるところは

公にしたいと考えている。

【A委員】

前回の運営協議会では総おどり中止を下したのは企画運営を担当した徳島市と徳島新聞社とのことだったが、収支の大赤字と合わせて徳島新聞社の責任は重いと言わざるを得ない。そもそも徳島新聞社が主催者である実行委員会のメンバーに入るのであれば、徳島新聞社の関連会社が阿波おどり関連の高額の仕事を受託するというのは利益相反行為に当たるのではないか。徳島新聞社の関連会社が阿波おどり関連の仕事を受託するのであれば、実行委員会のメンバーから外れるべきではないのか。市民感覚のモラルとしておかしいと感じる。

【事務局】

徳島新聞社の関連会社は、おそらく看板製作会社のことだと思うが、今年の看板製作業務については入札を行っており、結果として徳島新聞社の関連会社が落札している。徳島新聞社が実行委員会の委員にはなっているが、入札を行う上で適切に行っており、不適切な処理を行っているとは考えていない。

【A委員】

一昨日の実行委員会を公開したのはあるべき姿であると評価するが、収支の大赤字を聞かれた委員がしょうがないと言っていた。前回の会議で配布した資料に阿波おどりの総括があったが、非常に限られた時間で無事に開催できたことは大いに評価されると記載があったが、これはあまりにも自分に甘い、自らに甘いと思わないのか。今年も阿波おどりの評判を落とし、収支も大赤字であった。これが上場企業であれば株価は大暴落して役員の問題を問われる事態である。実行委員会のメンバーは立場ではなく人で選ぶべきだと思うが、今年の事態についてメンバーを変更するつもりはないのか。

【事務局】

現在、有識者会議を立ち上げており、運営体制も含め、今年の阿波おどり事業の全般について検討いただくことになっている。資料3を作成したのは、有識者会議の中で他の祭りの運営体制がどうなっているか参考にしたいという意見があり、他の祭りを調査したところである。有識者会議、また実行委員会の中でいろいろ議論いただきたいと考えている。

【A委員】

阿波おどり振興協会（以下「振興協会」という。）とは来年の演出方法が決まってから、有識者会議の意見を待ってからという趣旨を市長が話されていたが、今年も後2カ月しかない。今年の人出の落ち込みは来年取り戻さなければ、今年の人出の人数がデフォルトになる。今年来て盛り上がりえない状況に失望した人のことを考えると、もしかすると、今年の人出の9掛け、8掛けがデフォルトになってしまうかもしれない。時間が経てば経つほど、元に戻すことが困難になると思う。振興協会と手を携えて、オール徳

島で来年は踊る、元の姿に戻ることを早く打ち出すべきであり、時間がないということ
をどこまで自覚しているのか。また、市長が話された振興協会に実行委員会に来てもら
うことも一案だと思うが、まずは運営協議会のメンバーに入ってもらうのが良いと思
うが。

【事務局】

振興協会との協議については、24日に開催した実行委員会の中でもかなり議論が
深まったところである。当初の予定では、有識者会議の意見を待ち、ある程度議論を深
めてから振興協会との協議に入るといった話が出たが、実行委員会の一部の委員からそ
れでは遅いと意見も出ている。そのため、議論の方向性について早い時期に実行委員会
を開催し、どういう方向で運営していくのか詰めていくことになっており、振興協会と
の関係改善についても、実行委員会として、できる限り早く行った方がいいという認識
である。

【A委員】

振興協会が運営協議会のメンバーになっていただくことは考えていないのか。

【事務局】

運営協議会の委員構成等も含めまして、有識者会議の中で運営体制を考えていると
ころである。振興協会との関係改善を考えるなかで特別なファクターの一つになると
思うが、事務局でも答えは持っていない。今後の有識者会議の案件の一つになると思う。

【B委員】

有料演舞場について、踊り連に対して4日間で1500万円ほど支払っている話が
あったが、選抜阿波おどり等があると思うが今年度ほどのような形になったのか。

【事務局】

今年度の阿波おどりの開催については、基本的に前年度と同様の出演料を有名連に
支払っている。有料演舞場であれば1回出演につき2万円、選抜阿波おどりや前夜際も
前年度と同様に各踊り連と契約し、支払いを行っている。今年度の有料演舞場、選抜阿
波おどりを含め総額で1400万円程度になっている。

【C委員】

チケットの販売について、今年は販売枚数の足切りがあった。旅館の方でお客様の予
約に応じて注文する。あるいは少々であればあらかじめ用意しておき、お客様に販売す
るということもあったが、今年度はその点がうまくいっていなかった。それもチケット
販売率が減ったわずかな一因である気がしている。来年にはチケット販売方法につい
ても検討いただきたい。

阿波おどりの開催日は、四国の夏祭りとの関係で、県内、海外からお客様が四国を回
れるように4県がつながっている記憶がある。よさこいを先にしてその後が阿波おど
りになっている。旅行業者は団体ツアーをするときに高知のよさこいと阿波おどりで
締めくくるといようなことをテーマに募集をしていたこともあると思う。

四国の旅館業の会議の時に、徳島しっかりしてください、阿波おどりの影響でお客様がかなり減ったと言われた。阿波おどりの大きさと四国に来るお客様への連携を考え合わせる必要があると思う。

【事務局】

チケット販売について、一般販売開始の7月1日より前の旅行会社向けの販売や市内の旅館関係や宿泊施設関係へのチケット販売方法など、いろいろ意見をいただいている。10月24日に開催した実行委員会の中でもチケット販売方法について改善をするようにと意見をいただいている。そういった意見を踏まえ、来年の改善点の一つだと認識している。

四国の阿波おどり以外の入込客状況について意見をいただいたところである。徳島県で取りまとめた阿波おどり期間中の県内の入込客状況の新聞報道があったと思う。県内のどの観光地もかなり影響を受けており、猛暑の影響もあったが、阿波おどりの影響も少なからず受けていたのではないのかという報道があった。阿波おどりは世界に誇る伝統芸能である。今年の反省をしっかり踏まえ、改善するところは改善していき来年の阿波おどりをより良いものにしていかなければならない。主催者の責任として実行委員会一同、同じ思いであり、いろいろな意見をいただき参考にしたいと考えている。

【D委員】

チケット購入について、私自身が今年の夏にS席を確保しようとして7月1日の午前11時ぐらいにローソンで購入しにいったが、既にS、A席が完売しており、B席が少し残っているくらいで、当日券でも買おうかと考えていた。そのときはチケットは売り切れていると思っていたが、いろいろなところからチケットぴあであればまだ購入できると聞いて、7月10日に別の演舞場に変えたがS席を購入することができた。おそらく一般の旅行客のイメージとしてはローソンなどで取れないイコール席は無いと理解をしてしまっている部分もあるので、チケット購入方法の情報提供が十分でなかった様な印象があった。その辺りをチケット販売の仕組みも含めて教えていただきたい。

【事務局】

チケット販売については、業務委託を行っており、今年はチケットぴあと契約している。コンビニエンスストアでもチケット購入ができるようになっており、7月1日までに一般販売の可能な総枚数が決まる。この一般販売可能な枚数をローソンやファミリーマート、インターネット販売に振り分けるようになる。ローソンで1日目にチケットが売り切れてしまうと、ファミリーマートにチケットが残っていたとしても回すことができないという仕組みになっている。ただ、チケットぴあとセブンイレブンは同じ枠で販売可能となっていた。去年であれば楽天が販売会社であったが、楽天はファミリーマートと提携していたので、ファミリーマートと楽天のやり取りはできた。今年はコンビニエンスストアで購入するのであれば、セブンイレブンが比較的多くチケットを持

っていたことになる。そのため事務局に問い合わせが来たらセブンイレブンをおすすめしていた。しかし、パンフレットには記載しにくいところがあったため、順番的にはセブンイレブンを先頭にはしていたが、全国チェーン店でのローソンは大きい会社であり、早めに売り切れたと考えられる。

【D委員】

一般的には、一つのコンビニで購入できなかつたら別に行くという発想はなく、その店舗で売り切れていれば、全部が売り切れているという風に受け取ってしまう。そういった適切な情報提供をすることは必要だと思う。

【E委員】

今年の人出が非常に少なかった。6月ぐらいに東京の知人に聞いたところ、阿波おどりは中止であると思っていたふしがあるようである。それに対して、徳島市が実行主体であるならば宣伝をするのは徳島市であり、自治体がいろいろコマーシャルをするのはたくさん例がある。今年の阿波おどりは終わったので来年の阿波おどりも開催するというアピールしなければならないのではないか。東京、大阪のような大都市においてコマーシャルを流すというのは一つの方法と思う。場合によっては銀座や渋谷で阿波おどりを踊って、集まった方々にすだちを配るといったような事をすればPRになると思う。今年の人出が少なかったのはツアー客のキャンセルが相次いだと聞いたので、開催するということを知らしめる必要があるのではないか。

【事務局】

今年阿波おどりに対して逆風の報道がされたのは間違いないが、それに対してのPR不足であったということは事実だと思っている。来年の広報関係についても意見を参考にさせていただきたいと思う。

PRについて、これまで実行委員会はかなり取材等を受けており、できる限り情報を伝えてきたが編集等でネガティブな部分だけ協調されたと思う。スポットCMなどは経費の問題もあり、来年も難しいと思うが、実際に東京で踊ってPRするのは効果的であると考えられる。SNS等を利用して情報発信してきたが、市のみならず市民、県民、企業の方々、全体で盛り上げて、協力いただきオール徳島でPRできるような方策をしていきたいと思う。指摘があった点はできる範囲内で取り組み、実行委員会にも意見を出していき、今後より良いPR方法も検討していきたいと思う。

【F委員】

栈敷の踊りイコール総おどりという問い合わせが県外からあった。今年阿波おどりは止めるという声がかかなりあり、PR不足ではなかったか。阿波おどりは総おどりが全てでないと説明したが、全体的には徹底できていなかったのが大きな原因の一つではないか。

黒字、赤字で言うと、平成21年までが黒字、赤字は平成22年度から今年を含めて7年目、黒字が23年と去年、去年の黒字は支出が1、2割減っているのが大きな要因

と思うが原因はわかるのか。

【事務局】

平成29年度は観光協会が発表した数字であり、実際の決算が出ていない状況である。例年であると翌年5月の総会で阿波おどり事業がどうだったか議論していたが、10月時点の数値なのでどこまで正確なのかはわからない。

【F委員】

今年の支出が増えているが、努力して支出を下げるといったことだったが下がっていない原因はなにか。

【事務局】

1つは観光協会の所有物の機軸照明を購入した臨時的なものが1,000万円ほどあった。もう1つは地域の方が運営していた臨時駐車場について、今年実行委員会が運営することになり経費が800万円ほどかかったことが主な要因だと考えられる。

【F委員】

小さいことで努力されていると思うが支出は増えている。2億5,000万円の支出が減るような努力もしてほしいと思う。

今年も阿波おどりを見たが、秋田町が新しくでき、多くの人々が来たと思う。秋田町の今年の現状と演舞場のチケット売り上げがだいぶ減った様であるが、各演舞場の売上の資料はあるのか。市役所前は今年も1部は入っていたが、2部はほとんど入っていない状況であった、市役所前演舞場に対するチケット売上がどれくらいだったか出していただきたい。来年度の市役所前演舞場をどうするかは大きな課題になると思う。市役所前演舞所に行くには遠く暗いため、客の減った原因だと考えている。

【事務局】

支出については、減らしていくことが課題だと思っており、どうすれば減らすことができるのか、契約のあり方以外にも方法、あるいは議論の中で検討していく必要があると考えている。

秋田町については12日から15日の期間、毎日26連の方に踊っていただきお合計107連の方が踊り込んでいただいた状況である。

チケット販売については、今年市役所前演舞場が1,885万円、去年は2,976万円であり、1,100万円程度減少している。今年の市役所前の15日の2部については12パーセント程度の販売率であった。昨年の15日2部の販売率は市役所前が27パーセントで一番悪かったが、今年はさらに下回る残念な結果で12パーセント程度になっており、意見いただいたように市役所前の魅力向上策かそもそも機軸をどうするのかという根本的なところから検討する必要があると考えており、そういったことも踏まえて有識者会議で議論いただくことになるので、実行委員会として検討していきたい。

【F委員】

市が先頭に立って今年の実行委員会を開催するのが時期的に遅かったのではないかと。来年度はできるだけ早い機会に実行委員会なりの組織をスタートさせて、総おどりが阿波おどりの全てではないことも含め、県外へのPRを早くスタートする。観光業者の方々にもお願いしスタートを早めていただくのが来年度への大きな課題の一つではないかと考える。赤字、黒字は二の次と認識しており、それに拘らず徳島へたくさんの人に来ていただき、阿波おどりに本当に素晴らしかったという思いを持って帰っていただくということが一番大事なことだと思うので、来年に向けて奮起しスタートを早めにしていただきたいと思う。

【事務局】

実行委員会の中でも事務局が考える以上のスピード感が必要だと同意見が出ている。事務局も委員の期待に応えられるよう資料をまとめて来年の開催に向けて対応していきたい。

【G委員】

今年は報道等で負の阿波おどりとして全国に知れ渡ったというのが実情だと思うが、ピンチをチャンスと捉えるのであれば、まったく阿波おどりを知らなかった人までが全国放送で阿波おどりの問題を知ったわけである。今後2020年に向けて外国人の流入も多くなってくる中、収入について今回は激減しているが、それまではあまり変わっていない。今までは阿波おどりの大ファンでコアなお客様をターゲットにしていると思うが、新しいお客様に対するPRを行っていけば、効果が出てくると思う。

チケット販売においても、S席がどこでA席はどこまで下がってB席がどれだけ悪いかということさえわからない知識のお客様に来てもらう場合は、大分にある地獄めぐりのような、4カ所全ての演舞場を巡る総合チケットを作っていただき、その代わり座席は確保されていないため、空いている席に自由に座っていただく。1枚ずつ購入するよりは安い価格設定をするという様なチケットを用意すると、ここが良かったなどリピートに繋がり、次年度は気に入った機軸の席に座ってもらう様なコアなお客様に変わっていくのではなかと思うので、ぜひ検討いただきたい。それと宣伝がとても重要だと思う。メディアはやってくると思うので、それに乗らない方法はないと思う。宣伝は4月ぐらいまでには開始されるのが望ましいのではないかと。

【事務局】

チケット販売方法については、来年の参考にさせていただきたいと思う。

インバウンドは徳島市としても、非常に大きい販路であり、実行委員会、徳島市でも、力を入れていきたいと思っている。

宣伝方法については、実行委員会で実施の大枠をまずは決めて欲しい。そうすることにより、旅行業者の商品の造成も前向きにできる。今までどうするか分からないところがあるので、急いで欲しいと指摘を受けている。事務局としても、まずは大きいところを決めて、しっかりとアピールしていく方向である。

【H委員】

踊る方の立場としても9月1日から色々な施設を借りて、週1回練習に取り組んでいる。

現在、8月12日から15日という固定日で阿波おどりを開催しているが、開催日はどうしてもその日でないといけないのか伺いたい。高円寺が夏の阿波おどりを始めたときは、固定日開催だったが、現在は土日に変更している。もし、同じようなことができるのであれば、開催日を木・金・土・日の4日間にできれば、踊っている立場からすると、会社員が多いので休暇を取らなければならない。来年は月・火・水・木であり、向こう3年間は土日が入ってこない。踊り子を集めるのは大変である。希望的な意見はあるが土・日を入れた木・金・土・日という開催日設定ができないのか。

振興協会の方は総おどりのために、歴史を踏まえて大変な練習をしているということで、全く無くすのも苦しいことだと踊り手の立場として感じる。事務局の報告の中で、市役所前の2部の売上が悪いとのことだが、振興協会に市役所前演舞場の2部の10時ぐらいから最後まで総おどりで締めるようなことを依頼して踊っていただくと観光客が来てくれるのではないか。

【事務局】

開催日について、高円寺も曜日開催で行っているようである。県内の池田や鳴門の阿波おどりも順々に日を追って開催をしているということで、現実的に開催日を変えられるのかどうか、調整もあると思うが、そういった意見が出たことをしっかり伝えて、実行委員会で判断していきたいと思う。

振興協会の市役所前演舞場の総おどりについて、市役所前のチケットの販売率の低下は問題だと考えており、振興協会と早急に協議を行っていく必要があると考えており、その中で参考させていただければと思う。

【I委員】

今年の総おどりについて、雑踏警備上、見物客が何重にも重なっていつ将棋倒しになるのかわからないような危険な場面があった。現場にいたが身動きできなくなり、小さい子どももたくさんいた。人身事故等の被害が発生する危険な場面があったと強く感じている。事故がなくて良かったで済まされるようなことではない。事故が起きれば歴史と伝統のある阿波おどりの今後の開催が危ぶまれる。本年の様な危険な状況があれば警備そのものを見直す必要もある。事故の無い安全で安心して楽しんでもいただける阿波おどりとなるよう運営方式を改めてお願いしたい。

【事務局】

総おどりの実施について、ある程度の情報が事務局にも流れてきていた。実行委員会としては、安全安心な阿波おどりの開催に向けて、振興協会に総おどり自粛の要請をしていたところである。結果として総おどりを強行されてしまったということについては、実行委員会として非常に遺憾であると考えている。

来年については、振興協会と協議する中で総おどりの実施方法についても、有識者会議でどうしていくか意見が出てくるかと思う。来年、安全安心な開催に向けて努力していきたい。

【J委員】

H委員に伺いたいのだが、総おどりをやっているのは振興協会であるが、徳島県阿波踊り協会（以下「県協」という。）は総おどりできないのか。

【H委員】

総おどりをしない他の演舞場はどうなるのか。

【J委員】

総おどりがキーワードになってくると思う。今回は総おどりしないことが、阿波おどりをやらないと県外の方は勘違いしていたと思うが、そういったことが分かっている、実行委員会はずいぶん総おどりを中止にしたのか。総おどりを中止しないといけない理由を排除すれば、来年は総おどりをしても全然支障がないと思う。

委員の方が色々な意見を出してくれる。それは素晴らしいことだと思うが、それより、総おどりをするのであれば、中止した理由を除いてやったら、総おどりをやりませんかとなるのではないか。

【事務局】

総おどりを中止するというのは、結果としてそうなった訳であり、実行委員会の中で阿波おどりの魅力向上策を考える上で、今年のフィナーレは、10時以降、有名連の方ばかりに踊ってもらい、最後はお客様も流れ込んで一緒に帰っていただく演出を考えたところである。そういったことから総おどりができなくなった。

今までは南内町で総おどりしており、振興協会のファンは、最後に振興協会の連を見ようとしても南内町演舞場でしか見ることができない、そういったことから実行委員会で、振興協会の踊りを南内町演舞場以外でも見ることができるようであれば、総おどりという形でなくて10時以降に有名連を各演舞場に張り付けたらどうかと期待していたところであるが、今年度の結果については真摯に受け止める必要がある。

有識者会議、実行委員会の中でもチケット販売方法、踊りの演出方法も含め十分検討していきたいと考えている。

【C委員】

総おどりはビッグイベントで影響力が大きいことは間違いないと思うが、実際に宿泊いただいたお客様から今回の踊りのフィナーレは良かったという意見も聞いている。

来年については、総おどりという名称がどうかは別として、各栈敷でのフィナーレは、有名連のおどりを披露できればと思う。

【事務局】

チケットの販売率自体は、低下しているが、実際に阿波おどりを見ていただいた方に喜んでいただければ、ありがたいという思いでいっぱいである。

【K委員】

H委員から開催日の話があったが、中央市場にかかわっている者として、毎年、休みの期間は決まっており、14日から16日の3日間の日程で休みを取る。東京市場や大阪市場も全てそのようなになっている。市場が休みを取ると生産地も全部休みを取るため、開催日を動かした場合は、農産物の供給が難しくなると思う。来年の休みは9月末ぐらいまで全部決まっており、1年以上前から計画していただかないと休みの変更ができない。変更して、農産物が市場に入らないのであれば、消費者に迷惑がかかる状況になる。

【事務局】

阿波おどり開催日の影響は大きい話であるのは間違いない。いろんな業界の意見があると思うが、今日の意見をしっかりと実行委員会に伝えたい。

【L委員】

運営協議会、実行委員会の議事録について、運営協議会に参加して思っていたのが、運営協議会の議事録を実行委員会の資料に添付するとか、実行委員会の議事録を予め運営協議会が開催される前に送っていただき、議事録に目を通していただければ運営協議会と実行委員会と問題共有できると思う。総おどりが中止になったことを実行委員会だけで決めたことを新聞等で見ると前に運営協議会に先に知らせていただければ、ギクシャクしたことにならなかったと思う。ホームページの閲覧ができない方もいると思うので議事録を送っていただきたい。

来年は、収入を増やす方法を、チケットだけではなく企業連から費用をいただき演舞場内で宣伝できるとかで収益を上げることはできないのか。企業連はタレントを呼んだり、有名連の鳴り物付けて踊っているが、連自体を県内問わず募集し、20人でもいいと思うし、鳴り物がなくてもタブレット等で音は流せると思うので、踊りながら自分の会社やグループのPRを行ったり、パンフレットをスタンドの観客や見物人に配ったりして、見物人に写真を撮ってもらいSNSで配信すると世界に宣伝できるのではないか。連の募集は県内問わず、地元の連などは優先条件を設けるなどしても面白いのではないか。

両国本町や元町は無料演舞場になっているので、コマースタイムみたいに1時間や2時間おきに企業連に踊り込んでもらい、PRしてもらうのも面白いと思う。企業連が無料で演舞場に入るのではなく、お金は支払ってもらい踊ってもらうのも面白いのではないかと思いき意見させていただいた。

【事務局】

企業連からお金を頂いたらということだが、ほかの祭りで、例えば高円寺では1連5万円の参加費を支払って踊りに参加しているところもある。企業連からお金を支払っていただき、コマースタイムみたいなものを取り組むのも面白いと思うので、考えていきたいと思う。

運営協議会の議事内容については、実行委員会にしっかりお知らせする必要があると考えており、24日に開催した実行委員会でも前回の運営協議会の中の議事については、報告させていただいている。本日の議事内容についても、次回開催する実行委員会の中で議論の参考になるようにしっかり報告させていただく。

実行委員会の議論を運営協議会にも報告してほしいという意見について、次回開催のときには、実行委員会の議事内容も資料として配布する対応をしたいと思う。

4 その他

【A委員】

運営協議会を開催するタイミングはどう考えているのか。

【事務局】

現在、有識者会議を開き、阿波おどり全ての事業の検証を行っている。それと並行して、実行委員会で来年の開催概要を早急に決める必要があるという意見も出ている。実行委員会は急ぎ大枠を決めるために何回か開催していくことになると思う。

運営協議会については、有識者会議、実行委員会の議論の状況を踏まえて開催日程を考えさせていただきたい。そのため、年内に開催できるかどうかお答えできない。

4月時点でお伝えしていた決算の報告と3・1年度の阿波おどりの事業計画について、1月下旬から2月に運営協議会を開き、実行委員会で諮っていくことになると思う。現在、有識者会議を立ち上げ、議論をさせていただいているところであり、事務局でその状況を踏まえて、2月の間に運営協議会を開催するか判断していきたいと思う。

【会長】

以上を持って第4回阿波おどり運営協議会を終了する。